

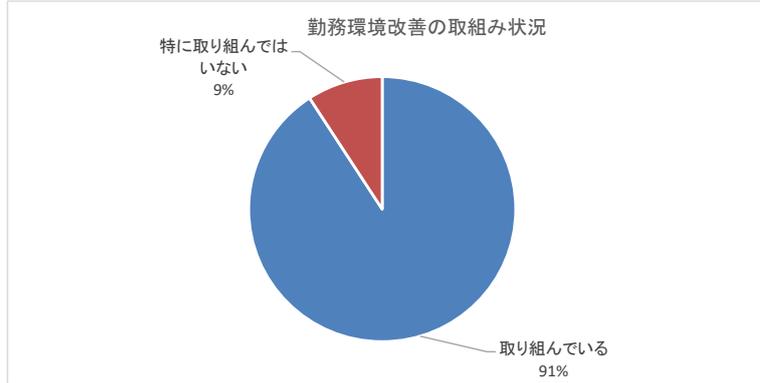
医療従事者の勤務環境改善調査結果

令和2年度、兵庫県医務課より受託した「医療機関勤務環境改善推進事業」の調査研究事業の一環として、県内346病院を対象として、働き方改革・勤務環境改善取り組み状況、医師の労働時間管理について、コロナ禍の影響についてアンケート調査を令和2年11月に実施したのでその概要を公表します。なお、回答は120件34,6%の病院から頂きました。

I 働き方改革・勤務環境改善取り組み状況について

●問1 何らかの勤務環境改善に取り組んでいますか

病院区分等	取り組んでいる	特に取り組んでいない
特定機能病院及び地域医療支援病院	20	20
一般病院 (400床以上)	1	1
一般病院 (200以上400床未満)	10	9
一般病院 (100以上200床未満)	34	30
一般病院 (100床未満)	27	24
一般病院 (療養病床のみ)	22	20
精神病院	6	5
合計	120	109

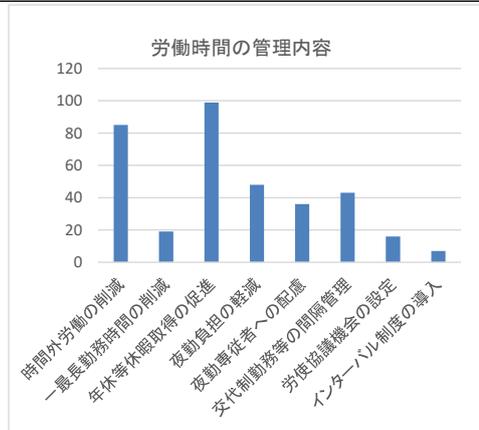


①働き方・勤務環境改善の取り組み状況

何らかの働き方・勤務環境改善に「取り組んでいる」病院が91%、「特に取り組んでいない」病院は9%とわずかであった。取り組んでいる医療機関は増加してきている。病院機能、規模に関係なくほとんどの病院で何らかの勤務環境、働き方改革に取り組んでいる。2年前の平成30年度調査では、「取り組んでいる」と回答した病院は半数しかなかったが、働き方改革関連法の施行があり意識も変わり、調査の意味内容の理解も深まり、取り組み事業所が増加したと考えられる。ちなみに、令和元年調査では「取り組んでいる」88%、「特に取り組んでいない」9%、「必要を感じていない」3%。平成30年調査では「取り組んでいる」49,1%、「取り組んでいない」38,8%、「必要を感じていない」12,1%であった。なお、医療マネジメントシステムの「導入あり」は9,4%、「導入なし」は90,6%であった。

●問2 前半 労働時間管理 どのような内容に取り組んでいますか (複数回答可能)

病院区分等	時間外労働の削減	一最長勤務時間の削減	年休等休暇取得の促進	夜勤負担の軽減	夜勤専従者への配慮	交代制勤務等の間隔管理	労使協議会の設定	インターバル制度の導入
特定機能病院及び地域医療支援病院	20	18	3	20	12	7	8	6
一般病院 (400床以上)	1			1				
一般病院 (200以上400床未満)	9	7	3	9	5	3	4	4
一般病院 (100以上200床未満)	30	24	5	28	12	12	11	3
一般病院 (100床未満)	23	17	4	19	8	9	11	2
一般病院 (療養病床のみ)	20	17	4	18	10	5	6	1
精神病院	4	2		4	1		3	
合計	107	85	19	99	48	36	43	16

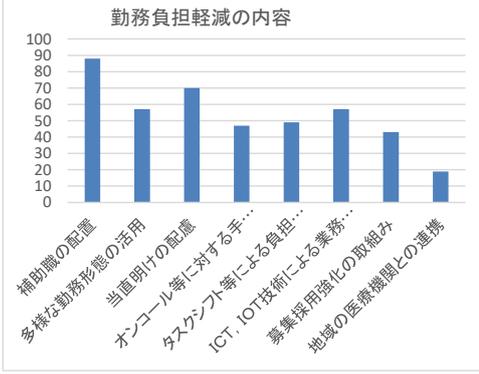


②取り組み内容、

(i)労働時間管理としては「年休等休暇取得の促進」、「時間外労働の削減」について、ほとんどの病院が取り組んでいる。次いで、「夜勤負担の軽減(夜勤明け早帰りの促進、仮眠時間の確保等)」、「夜勤・交代制勤務の適切な勤務間隔管理」、「夜勤専従者への配慮(夜勤の時間、回数の制限等)」など病院勤務ならではの夜勤交代勤務に関する内容改善・配慮に取り組んでいるところが約3割から4割あった。

●問2 後半 勤務負担軽減 どのような内容に取り組んでいますか (複数回答可能)

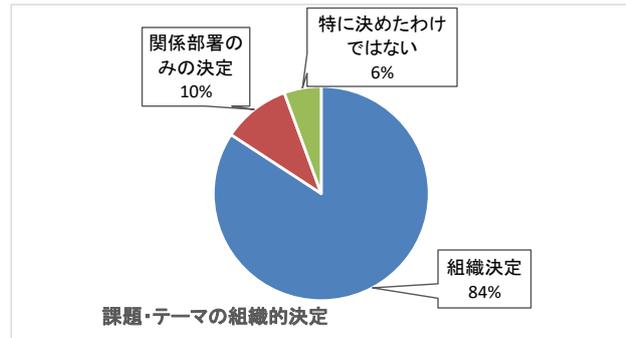
病院区分等	補助職の配置	多様な勤務形態の活用	当直明けの配慮	オンコール等に対する手当の改	タスクシフト等による負担軽減	ICT, IOT技術による業務	募集採用強化の取組み	地域の医療機関との連携
特定機能病院及び地域医療支援病院	20	20	11	15	11	15	14	3
一般病院 (400床以上)	1	1	1				1	
一般病院 (200以上400床未満)	9	6	2	8	3	5	6	3
一般病院 (100以上200床未満)	30	30	21	21	17	13	20	15
一般病院 (100床未満)	22	16	14	13	9	9	11	8
一般病院 (療養病床のみ)	20	12	8	11	7	6	4	13
精神病院	4	3		2		1	1	1
合計	106	88	57	70	47	49	57	43



(ii)勤務負担軽減策としては「補助職の配置」、「当直明けの配慮」を多くの病院で採用している。次いで、「正職員について多様な勤務形態(時短勤務、フレックスタイム制など)の活用」、「電子カルテやタブレット端末等のICT, IOT技術を活用した業務効率化・省力化」に取り組んだ病院が53%、「夜勤、緊急時対応、オンコール対応等に対する給与・手当等の処遇充実・改善」、「チーム医療や多職種連携(業務分担・連携の強化、タスクシフト)による負担軽減」に取り組んだ病院が44%~46%ある。

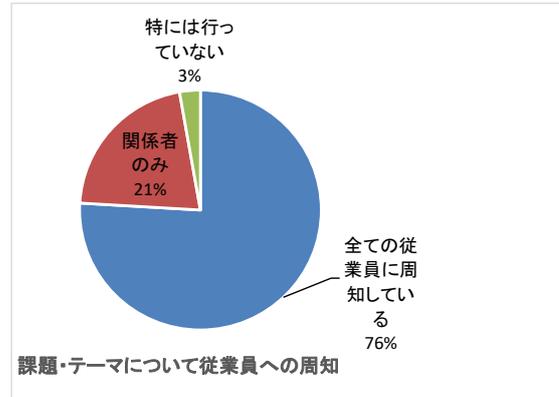
●問3 取り組んでいる課題、テーマについて、組織（理事長・院長決定）として決めましたか。

病院区分等	組織決定	関係部署のみの決定	特に決めただけではない
特定機能病院及び地域医療支援病院	20	19	1
一般病院（400床以上）	1	1	
一般病院（200以上400床未満）	9	7	1
一般病院（100以上200床未満）	30	25	5
一般病院（100床未満）	24	20	3
一般病院（療養病床のみ）	19	16	3
精神病院	5	3	1
合計	108	91	6



●問4 課題、テーマについて、すべての従業員に周知していますか。

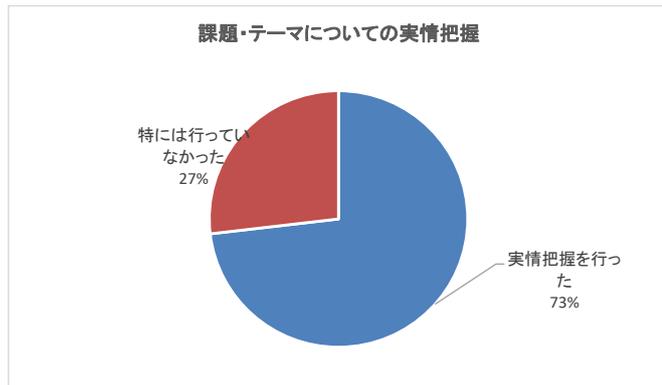
病院区分等	全ての従業員に周知している	関係者のみ	特には行っていない
特定機能病院及び地域医療支援病院	19	16	3
一般病院（400床以上）	1	1	
一般病院（200以上400床未満）	9	7	1
一般病院（100以上200床未満）	30	22	8
一般病院（100床未満）	24	19	4
一般病院（療養病床のみ）	20	14	5
精神病院	5	3	2
合計	108	82	3



③問3から問7に関しては、課題、テーマをどのようにして決定し、実行、評価、継続しているかを聞き、マネジメントシステムとして取り組んでいるかどうかを評価するためのものである。マネジメントシステムとしては取り組んでいないと回答（平成31年調査では90%）した病院がほとんどであったが、実質マネジメントシステム的に実行しているのではないかと推定し調査した。
その結果、大部分の病院が、組織決定（84%）し、全従業員に周知（75%）し、継続して実施（96%）している。

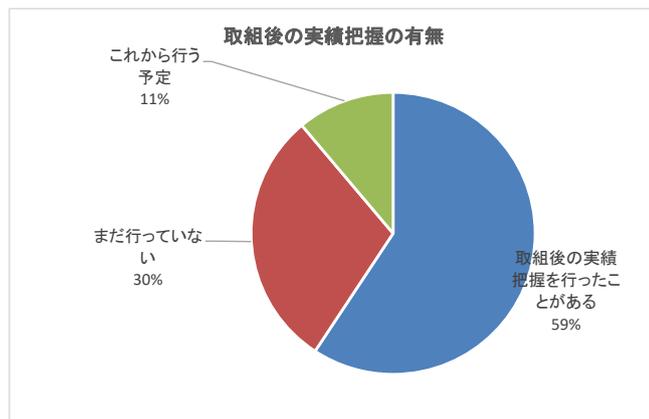
●問5 課題、テーマについての実情（データ）把握を行いましたか。

病院区分等	実情把握を行った	特には行っていない
特定機能病院及び地域医療支援病院	20	19
一般病院（400床以上）	1	1
一般病院（200以上400床未満）	9	6
一般病院（100以上200床未満）	30	23
一般病院（100床未満）	24	14
一般病院（療養病床のみ）	20	15
精神病院	4	1
合計	108	79



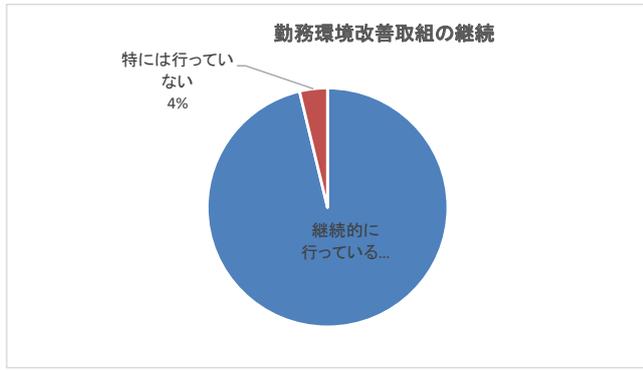
●問6 取組後の実績把握を行ったことがありますか

病院区分等	取組後の実績把握を行ったことがある	まだ行っていない	これから行う予定
特定機能病院及び地域医療支援病院	20	12	3
一般病院（400床以上）	1	1	
一般病院（200以上400床未満）	9	6	2
一般病院（100以上200床未満）	30	20	10
一般病院（100床未満）	24	14	9
一般病院（療養病床のみ）	20	9	7
精神病院	4	2	1
合計	108	64	32



●問7 勤務環境改善の取組を病院として継続的に行っていますか

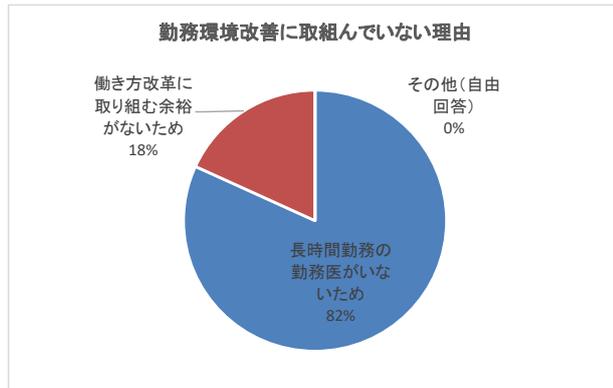
病院区分等			特には行っていない
	継続的に行っている		
特定機能病院及び地域医療支援病院	19	19	
一般病院 (400床以上)	1	1	
一般病院 (200以上400床未満)	9	9	
一般病院 (100以上200床未満)	30	29	1
一般病院 (100床未満)	24	22	2
一般病院 (療養病床のみ)	20	19	1
精神病院	4	4	
合計	107	103	4



ただし、客観的事実把握、実績評価を行っている病院は組織的決定、全従業員に周知、継続実施より少ない(79%、59%)。ゆえに、何らかの取組みをしている事業所のうち約6~8割はマネジメントシステム的に実行していると言える。

●問8 取り組んでいない理由はどれですか(問1で、特に取り組んでいないと回答した場合)

病院区分等			
	長時間勤務の勤務医がいないため	働き方改革に取り組む余裕がないため	その他(自由回答)
特定機能病院及び地域医療支援病院			
一般病院 (400床以上)			
一般病院 (200以上400床未満)	1	1	
一般病院 (100以上200床未満)	4	4	
一般病院 (100床未満)	3	1	2
一般病院 (療養病床のみ)	2	2	
精神病院	1	1	
合計	11	9	2

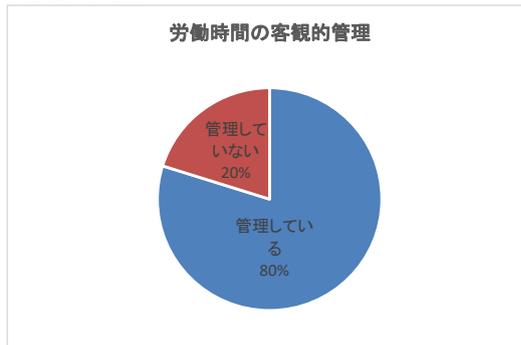


④何らかの働き方、勤務環境改善に「特に取り組んではいない」と回答した病院で、取り組んでいない理由としては、「長時間勤務の勤務医がいないため」が89%と大部分を占めている。「働き方改革に取り組む余裕がないため」も18%あった。

II 医師の労働時間管理について

●問9 タイムカードやPCの勤怠管理システム等を用いて、労働時間を客観的に管理していますか

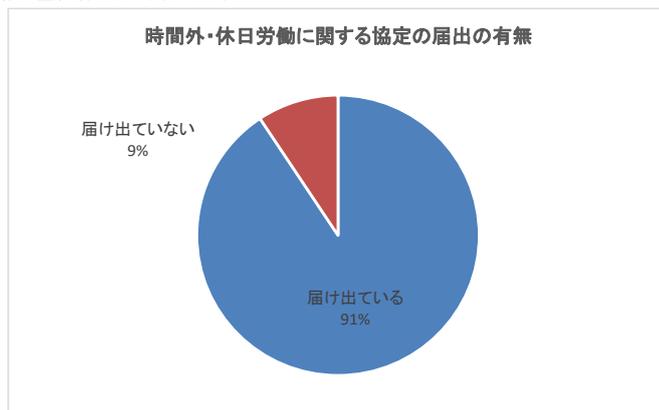
病院区分等			していない
	管理している		
特定機能病院及び地域医療支援病院	19	13	6
一般病院 (400床以上)	1	1	
一般病院 (200以上400床未満)	10	9	1
一般病院 (100以上200床未満)	34	30	4
一般病院 (100床未満)	27	19	8
一般病院 (療養病床のみ)	22	19	3
精神病院	6	4	2
合計	119	95	24



⑤労働時間をタイムカード、ICカードなど客観的方法により管理しているかどうかについては、「管理している」が8割、「していない」が2割あり改善の余地がある。

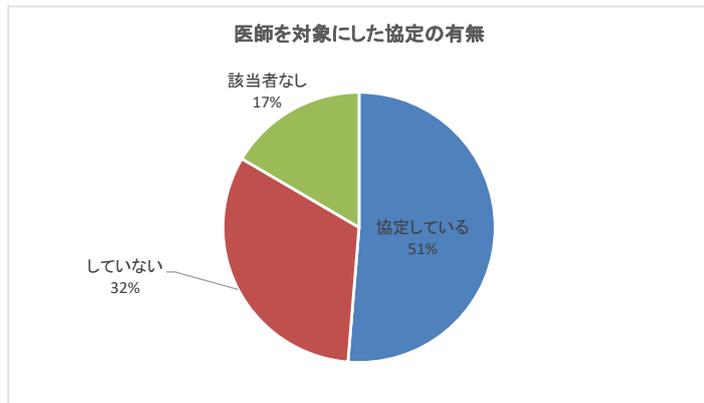
●問10 時間外・休日労働に関する協定について、今年度分を所轄の監督署に届け出ていますか

病院区分等			届け出ていない
	届け出ている		
特定機能病院及び地域医療支援病院	20	20	
一般病院 (400床以上)	1	1	
一般病院 (200以上400床未満)	10	8	2
一般病院 (100以上200床未満)	32	31	1
一般病院 (100床未満)	27	21	6
一般病院 (療養病床のみ)	22	20	2
精神病院	6	6	
合計	118	107	11



●問11 協定に医師を対象にした協定時間数を協定していますか

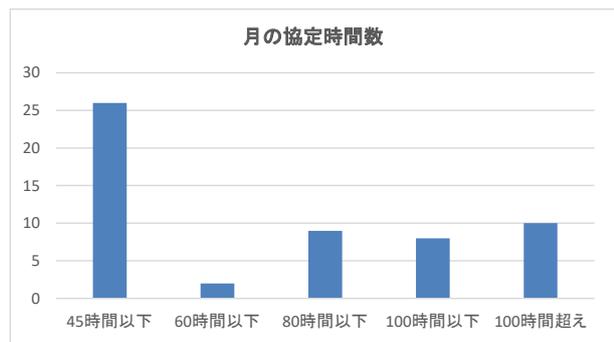
病院区分等		協定している	していない	該当者なし
特定機能病院及び地域医療支援病院	20	20		
一般病院 (400床以上)	1	1		
一般病院 (200以上400床未満)	10	8		2
一般病院 (100以上200床未満)	32	17	9	6
一般病院 (100床未満)	26	7	15	4
一般病院 (療養病床のみ)	21	4	10	7
精神病院	5	2	3	
合計	115	59	37	19



⑥36協定(時間外・休日労働に関する協定)については、91%の病院が「届け出ている」が、医師も対象に「している」病院は51%に過ぎず、「していない」病院が32%、「該当者なし」が17%あり、課題である。
小規模病院では「協定していない」、「該当者なし」が「協定している」を上回っている。

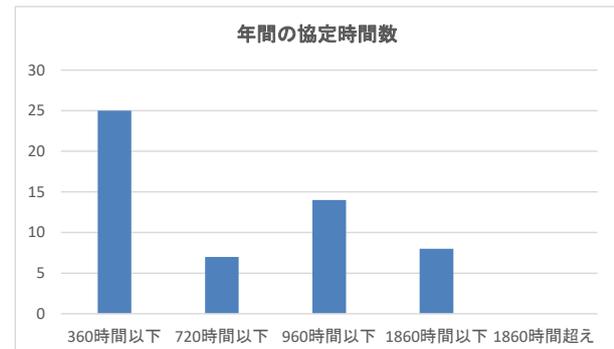
●問11の2 協定時間は何時間ですか。月の時間

病院区分等		45時間以下	60時間以下	80時間以下	100時間以下	100時間超え
特定機能病院及び地域医療支援病院	34	3		3	3	9
一般病院 (400床以上)	1	1				
一般病院 (200以上400床未満)	8	3	1	1	2	1
一般病院 (100以上200床未満)	27	10	1	4	1	
一般病院 (100床未満)	17	3		1	2	
一般病院 (療養病床のみ)	4	4				
精神病院	2	2				
合計	55	26	2	9	8	10



●問11の2 協定時間数は何時間ですか。年間の時間

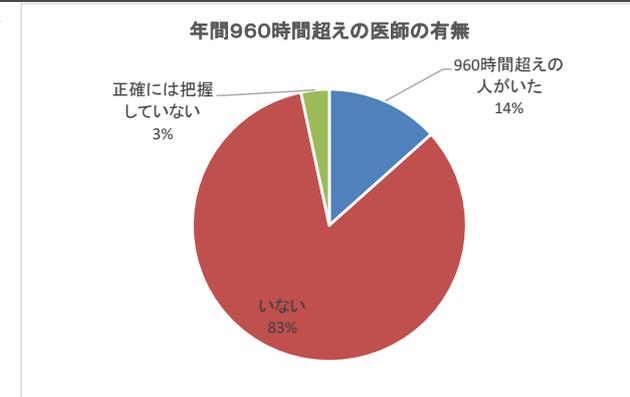
病院区分等		360時間以下	720時間以下	960時間以下	1860時間以下	1860時間超え
特定機能病院及び地域医療支援病院	34	3	1	7	7	
一般病院 (400床以上)	1	1				
一般病院 (200以上400床未満)	14	2	2	2	1	
一般病院 (100以上200床未満)	13	10	3	3		
一般病院 (100床未満)	18	3	1	2		
一般病院 (療養病床のみ)	2	4				
精神病院	1	2				
合計	54	25	7	14	8	



⑦ 医師を対象にした36協定の時間数は、月45時間以下がもっとも多く47%を占めているが、80時間を超えている病院も32、7%ある。特に100時間を超えている病院は特定機能、地域医療支援病院、大規模病院で見られた。
年間では、360時間以下が46%でもっとも多いが、960時間超えも14、8%見られる。特定機能、地域医療支援病院、大規模病院である。

●問12 2019年(度)医師で年間時間外労働+休日労働が960時間を超える人がいましたか

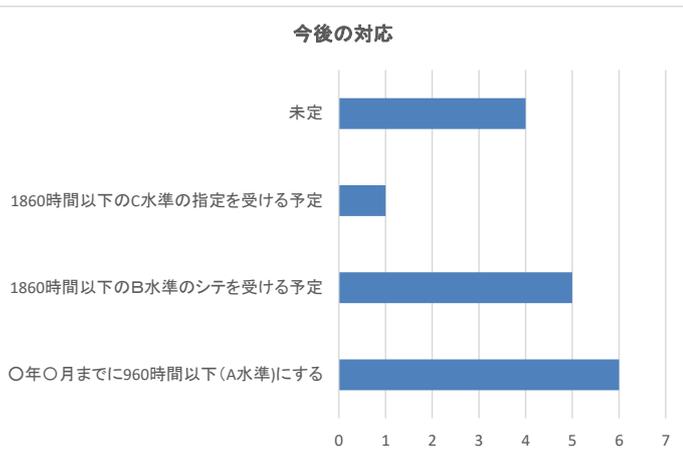
病院区分等		960時間超えの人がいた	いない	正確には把握していない
特定機能病院及び地域医療支援病院	20	13	7	
一般病院 (400床以上)	1		1	
一般病院 (200以上400床未満)	10	1	8	1
一般病院 (100以上200床未満)	34	2	31	1
一般病院 (100床未満)	27		25	2
一般病院 (療養病床のみ)	22		22	
精神病院	6		6	
合計	120	16	100	4



⑧年間960時間を超える医師が「いない」とする病院が83%と大部分を占めるが、「いた」病院も14%ある。「正確には把握していない」も3%あった。特に、地域医療支援病院では66%の病院で960時間超えの医師がいた。

●問12-2 今後の対応についてお答えください

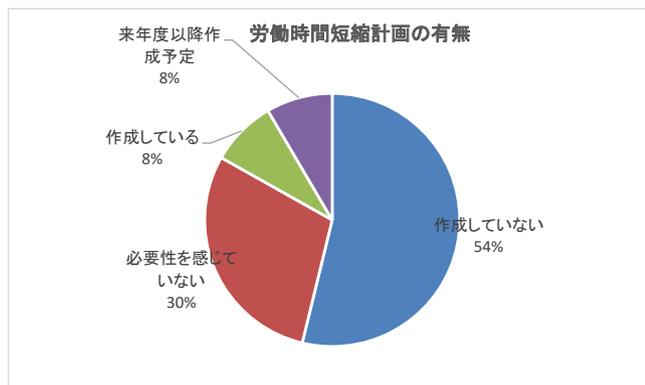
病院区分等		○年○月までに960時間以下(A水準)にする	1860時間以下のB水準のシテを受ける予定	1860時間以下のC水準の指定を受ける予定	未定
特定機能病院及び地域医療支援病院	13	4	5	1	3
一般病院 (400床以上)					
一般病院 (200以上400床未満)	1	1			
一般病院 (100以上200床未満)	2	1			1
一般病院 (100床未満)					
一般病院 (療養病床のみ)					
精神病院					
合計	16	6	5	1	4



⑨960時間超えの医師がいた病院(16病院)の今後の対応については、「B水準、C水準の指定を受ける予定」とそれまでに「960時間以下にする」がそれぞれ37.5%と拮抗している。まだ「未定」も25%ある。

●問13 医師の労働時間短縮計画を作成していますか

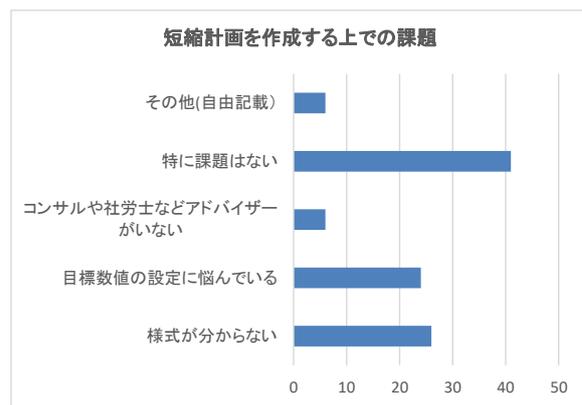
病院区分等		作成している	作成していない	来年度以降作成予定	必要性を感じていない
特定機能病院及び地域医療支援病院	20	5	9	5	1
一般病院 (400床以上)	1		1		
一般病院 (200以上400床未満)	10	1	6	1	2
一般病院 (100以上200床未満)	34	2	20	2	10
一般病院 (100床未満)	27	1	19	1	6
一般病院 (療養病床のみ)	21	1	7	1	12
精神病院	6		2		4
合計	119	10	64	10	35



⑩医師の労働時間短縮計画に関しては、「作成していない」が53%と過半を占めており、「必要性を感じていない」も29%ある。「作成している」病院は8%とわずかで、「来年度以降作成予定」をいれても16%である。中小規模病院、精神科病院では「必要性を感じていない」が多い。

●問14 医師の労働時間短縮計画を作成、検討する上で課題に感じられることはありますか

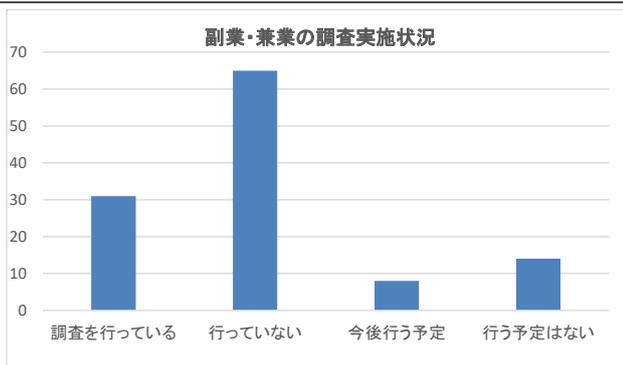
病院区分等		様式が分からない	目標数値の設定に悩んでいる	コンサルや社労士などアドバイザーがいない	特に課題はない	その他(自由記載)
特定機能病院及び地域医療支援病院	15	5	7	1	5	2
一般病院 (400床以上)						
一般病院 (200以上400床未満)	8	3	5	1	3	
一般病院 (100以上200床未満)	19	7	5		7	2
一般病院 (100床未満)	23	8	6	3	12	
一般病院 (療養病床のみ)	16	2	1	1	12	2
精神病院	3	1			2	
合計	84	26	24	6	41	6



⑪医師の労働時間短縮計画を作成、検討する上で課題に感じられることとしては「特に課題はない」と48%の病院が回答しており、次に「様式がわからない」、「目標数値の設定に悩んでいる」とほぼ3割の病院が回答している。

●問15 医師の副業・兼業の実施状況について、調査を行っていますか

病院区分等		調査を行っている	行っていない	今後行う予定	行う予定はない
特定機能病院及び地域医療支援病院	20	11	5	2	2
一般病院 (400床以上)	1	1			
一般病院 (200以上400床未満)	9	3	6		
一般病院 (100以上200床未満)	34	5	22	3	4
一般病院 (100床未満)	27	4	18	1	4
一般病院 (療養病床のみ)	21	6	11	2	2
精神病院	6	1	3		2
合計	118	31	65	8	14



⑫医師の副業・兼業の調査実施について、調査を「行っている」病院は26%であり、「行っていない」と「行う予定はない」を合わせると66.9%であり3分の2の病院では副業・兼業の把握を行う意思が見られない。今後行う予定は6.7%とわずかである。

Ⅲコロナ禍の影響について

●問16 陽性患者を受け入れましたか

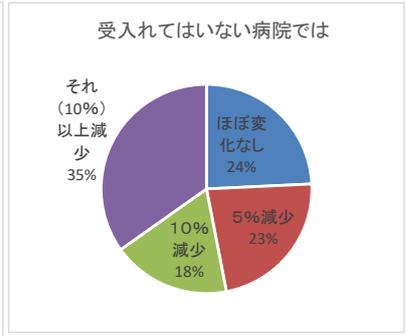
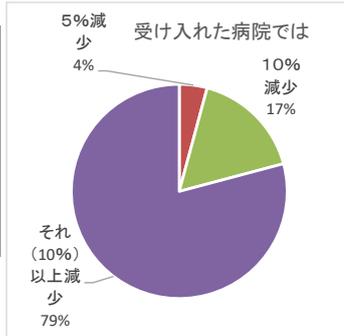
病院区分等	受け入れた	受け入れては いない	結果が 判明する までの 待機のみ
特定機能病院及び地域医療支援病院	20	17	1
一般病院 (400床以上)	1	1	
一般病院 (200以上400床未満)	10	2	7
一般病院 (100以上200床未満)	33	4	18
一般病院 (100床未満)	26		20
一般病院 (療養病床のみ)	22		18
精神病院	6		5
合計	118	24	69

⑬ 陽性患者の受け入れ状況

コロナ陽性患者を受け入れた病院割合は、「受け入れた」病院が20%、「受け入れていない」病院が58%、「結果が判明するまでの待機のみ」が21%であった。
地域医療支援病院、大規模病院で「受け入れ」が多く、小規模、精神科病院では「受け入れなし」が多い。

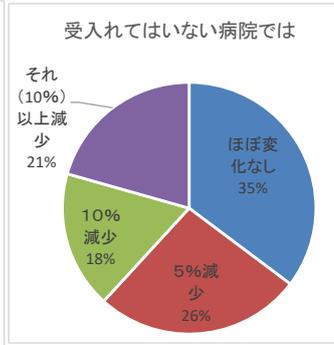
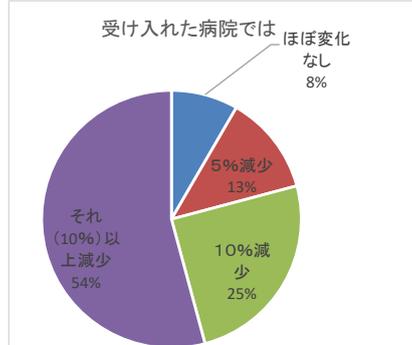
●問17 外来患者数の変化

外来患者数の動向	ほぼ変化なし	5%減少	10%以上減少	それ(10%)以上減少
受け入れた病院では	24	1	4	19
結果が判明するまでの待機)	25	1	5	10
受け入れていない病院では	66	16	15	12
合計	115	17	21	26



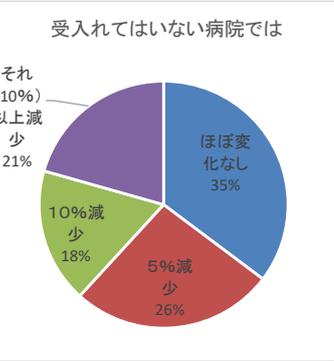
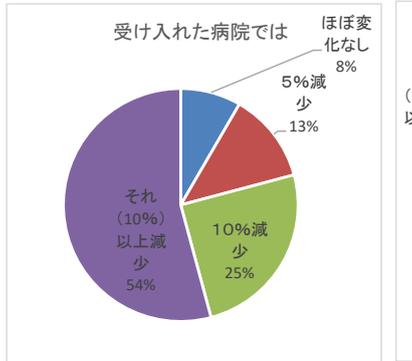
●問18 入院患者数の変化

入院患者数の動向	ほぼ変化なし	5%減少	10%以上減少	それ以上減少
受け入れた病院では	24	1	3	16
結果が判明するまでの待機)	25	7	4	7
受け入れていない病院では	67	28	14	13
合計	116	36	21	36



●問19 収入の動向

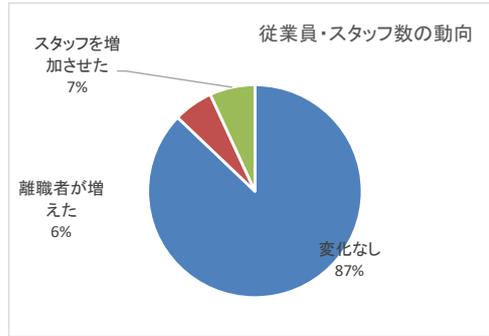
収入の動向	ほぼ変化なし	5%減少	10%以上減少	それ以上減少
受け入れた病院では	24	2	3	13
結果が判明するまでの待機)	25	5	4	9
受け入れていない病院では	68	24	18	14
合計	117	31	25	41



⑭令和2年2月～7月の半年間について、対前年同期に比べ、外来患者数、入院患者数の変化、収入の動向を聞いたところ、外来患者数については、「10%以上減少」した病院が44%と最も多く、次いで、「10%減少」病院が23%と影響の大きさがうかがわれる。
特に、受け入れ病院では、「10%以上減少」とする病院が79%を占め、受け入れていない病院でも「10%以上減少」したが34%を占めていた。
入院患者数に関しては、「10%以上減少」と「ほぼ変化なし」が拮抗していたが、受け入れた病院では「10%以上減少」した病院割合が67%を占め、受け入れていない病院では「ほぼ変化なし」が42%と最も多かった。
収入に関しては、「10%以上減少した」が35%と最も多く、「ほぼ変化なし」は26%とわずかであった。

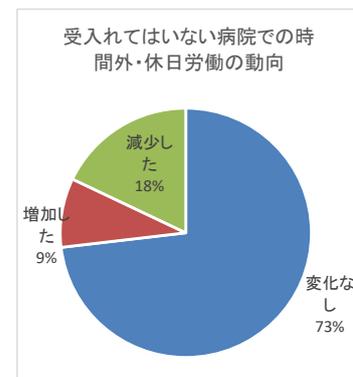
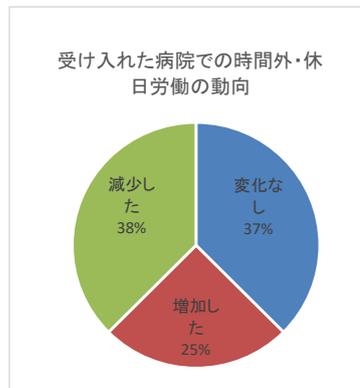
●問20 従業員・スタッフ数の動向

従業員・スタッフ数の動向	変化なし		離職者が増えた		スタッフを増加させた	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
受け入れた病院では	24	20%	2	2%	2	2%
結果が判明するまでの待機)	25	22%	1	1%	2	2%
受入れてはいない病院では	68	60%	4	4%	4	4%
合計	117	102%	7	7%	8	8%



●問21 時間外・休日労働の動向

病院区分等	変化なし		増加した		減少した	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
受け入れた病院では	24	9%	6	6%	9	9%
結果が判明するまでの待機)	25	18%	3	3%	4	4%
受入れてはいない病院では	67	49%	6	6%	12	12%
合計	116	76%	15	15%	25	25%



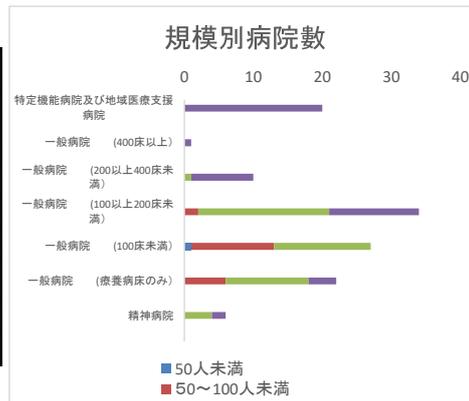
増加した部署(自由記載):事務部6件 看護部5件 感染対策3件

⑮従業員・スタッフ数の変化は、「変化なし」が87%と大部分を占め、雇用までの影響はあまり見られなかった。しかし、一部では「離職者が増えた」病院も5%あり、反面、「スタッフを増加させた」という病院も6%あった。
時間外・休日労働への影響としては、「変化なし」が65%と半数以上を占めているが、「減少した」も21%あり、逆に「増加した」も13%の病院であった。増加した部署は事務部門が多かった。

附属統計

1 規模別病院数(回答をいただいた病院について)

病院区分等	合計	50人未満	50~100人未満	100~300人未満	300人以上
特定機能病院及び地域医療支援病院	20				20
一般病院 (400床以上)	1				1
一般病院 (200以上400床未満)	10			1	9
一般病院 (100以上200床未満)	34		2	19	13
一般病院 (100床未満)	27	1	12	14	
一般病院 (療養病床のみ)	22		6	12	4
精神病院	6			4	2
合計	120	1	20	50	49



2 集計結果

●病院区分別労働者数等

病院区分等	全労働者数	医師			看護師
		医師の人数	うち常勤医師	うち非常勤医師	
特定機能病院及び地域医療支援病院	19,245	3,563	2,477	1,086	9,391
一般病院 (400床以上)	530	33	31	2	334
一般病院 (200以上400床未満)	5,456	752	570	182	2,481
一般病院 (100以上200床未満)	8,857	1,009	412	597	3,158
一般病院 (100床未満)	2,984	474	117	358	1,014
一般病院 (療養病床のみ)	4,134	364	96	268	1,266
精神病院	1,631	162	61	100	759
合計	42,837	6,357	3,764	2,593	18,403

病院区分別での平均労働者数(計算結果)

病院区分	全労働者数	医師			看護師
		医師の人数	うち常勤医師	うち非常勤医師	
特定機能病院及び地域医療支援病院	962	178	124	54	470
一般病院 (400床以上)	530	33	31	2	334
一般病院 (200以上400床未満)	546	75	57	18	248
一般病院 (100以上200床未満)	261	30	12	18	93
一般病院 (100床未満)	111	18	4	13	38
一般病院 (療養病床のみ)	188	17	4	12	58
精神病院	272	27	10	17	127
合計	357	53	31	22	153